



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月10日

上場会社名 株式会社カーチスホールディングス
コード番号 7602 URL <http://www.carchs-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 大屋 高志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼代表執行役常務 (氏名) 長倉 統己

TEL 03-3239-3185

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	8,058	18.5	35		30		56	
2021年3月期第2四半期	6,798	23.1	29		26		46	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 53百万円 (%) 2021年3月期第2四半期 45百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	2.72	
2021年3月期第2四半期	2.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	6,967	5,676	79.1	266.51
2021年3月期	7,648	5,771	73.3	271.04

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 5,508百万円 2021年3月期 5,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00	0.00	2.00	2.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	15.4	250	5.9	250	2.9	160	1.9	7.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	24,087,009 株	2021年3月期	24,087,009 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期2Q	3,416,691 株	2021年3月期	3,416,391 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	20,670,511 株	2021年3月期2Q	20,671,438 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありますが、感染拡大の防止策を講じつつ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。

新型コロナウイルス感染症の状況としましては、7月以降に感染者数が増加傾向となり、政府による4度目の緊急事態宣言が発出されるなど、極めて厳しい状況が続いておりましたが、9月には感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されるなど改善傾向にあります。

当社グループが属する自動車業界におきましては、中古車登録台数は、269万台（軽自動車含む、乗用のみ、貨物・バス等除く）となり、前年同期比で0.9%の減少となりました。また、新車販売台数は、168万台となり、前年同期比で0.4%の減少となりました（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会）。

このような環境のなかで、当社グループにおいては、『顧客ファースト』のスローガンのもとに、新経営体制における買取増強施策に基づき、買取直販を積極的に推進し、インターネット媒体への掲載取組強化や価格の見直し等による展示車両の充実を図るとともに、保証やメンテナンスなどの付属サービスや、その他の多様化する顧客ニーズに対応するサービスなどを強化し、付帯収益の向上に努めてまいりました。また、車検や保険などのアフターサービスの拡充により、既存顧客との継続的な取引の増加を図ってまいりました。一方で、前々期からの長期在庫等の処分及び良質車両の積極的な仕入による仕入価格の上昇により、一時的な利益率の低下が見られました。今後も引き続き同施策は継続し、お客様のニーズに合わせた商品ラインアップの改善により、買取仕入及び顧客向けの直販の強化を図ってまいります。また、タカネットサービス社との提携においては、当社店舗内の展示場内に商用車やトラックなどを展示することにより、新たな顧客層への取引を拡大しております。

海外事業につきましては、国内中古車輸出企業との業務提携による販路の拡大を進めております。また、中国に設立しました合弁会社である青島新馳汽車有限公司につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響のため、本格的な事業のスタートが立ち遅れておりますが、新型コロナウイルス感染症の縮小後の業績拡大に向けた事業活動を行なうための体制整備を進めております。

販売費及び一般管理費につきましては、前期より引き続き、地代家賃の見直しや水道光熱費の削減及び業務効率化の推進等による経費削減を行ないました。

以上の結果、売上高は8,058百万円（前年同期比18.5%増）、売上総利益は1,583百万円（前年同期比4百万円減）、営業損失は35百万円（前年同期は営業損失29百万円）、経常損失は30百万円（前年同期は経常損失26百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は56百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,967百万円となり、前連結会計年度末と比べ、681百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少794百万円、商品の増加139百万円などによるものであります。

負債合計は1,290百万円となり、前連結会計年度末と比べ、586百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金の減少690百万円、短期借入金の増加250百万円、一年内返済予定の長期借入金の減少50百万円、前受金の減少45百万円などによるものであります。

純資産は、5,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金の減少97百万円などによるものであります。この結果、自己資本比率は79.1%（前連結会計年度末は73.3%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、1,433百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失は30百万円であり、売上債権の減少63百万円などの増加要因と棚卸資産の増加132百万円や仕入債務の減少690百万円などの減少要因により、902百万円の支出となりました（前年同期は178百万円の支出）。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出148百万円、無形固定資産の取得による支出24百万円などの減少要因と敷金及び保証金の回収による収入131百万円などの増加要因により、49百万円の支出となりました（前年同期は12百万円の支出）。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出50百万円などの減少要因と短期借入金純増減額250百万円などの増加要因により、157百万円の収入となりました（前年同期は61百万円の支出）。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の連結累計期間の実績につきましては、前々期からの長期在庫等の処分及び良質車両の積極的な仕入による仕入価格の上昇に対して売上は期初予算まで増加しなかったことにより一時的な利益率が低下しました。また、販売費及び一般管理費においては前期より引き続き、地代家賃の見直しや水道光熱費の削減及び業務効率化の推進等による経費削減を行なってまいりましたが、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が期初計画を下回る結果となりました。

なお、下半期においては、新型コロナウイルス感染症の影響は回復傾向であると見られることから、小売台数については前年同期比で増加する見込みであり、また第3四半期までに長期在庫の処分や良質車両の仕入強化が完了し、その効果が現れてくる第4四半期以降においては、車両粗利の改善や、付帯商品や整備等サービスメニューの一層の強化を図ることによる業績の向上を見込んでおります。

しかしながら、第2四半期業績実績を勘案しました結果、通期連結業績予想につきましては、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の前回発表予想を修正いたします。

また当第3四半期以降、新規事業や当社グループとシナジーのあるM&Aを積極的に推進してまいりますが、現時点における通期連結業績予想には加味しておりません。

詳細につきましては2021年11月10日に公表いたしました「2022年3月期第2四半期連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,827,632	2,033,506
売掛金	1,214,254	1,150,786
商品	1,561,128	1,700,329
貯蔵品	672	792
その他	142,288	160,313
貸倒引当金	△766	△766
流動資産合計	5,745,211	5,044,962
固定資産		
有形固定資産	905,540	1,014,487
無形固定資産	461,681	500,900
投資その他の資産		
投資有価証券	56,527	57,019
差入敷金保証金	473,701	343,810
破産更生債権等	1,499	1,439
その他	16,004	16,004
貸倒引当金	△11,474	△11,414
投資その他の資産合計	536,258	406,860
固定資産合計	1,903,480	1,922,248
資産合計	7,648,691	6,967,210

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	961,541	271,017
短期借入金	10,000	260,000
1年内返済予定の長期借入金	75,000	25,000
未払金	205,861	193,191
未払法人税等	58,683	20,409
前受金	240,147	194,764
役員賞与引当金	3,546	—
資産除去債務	5,316	—
その他	136,509	130,007
流動負債合計	1,696,607	1,094,389
固定負債		
預り保証金	11,117	11,275
繰延税金負債	7,638	10,760
資産除去債務	155,926	168,849
その他	5,687	5,533
固定負債合計	180,370	196,419
負債合計	1,876,977	1,290,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,816,034	2,816,034
資本剰余金	846,636	846,636
利益剰余金	3,029,549	2,932,066
自己株式	△1,089,609	△1,089,687
株主資本合計	5,602,610	5,505,049
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,287	3,874
その他の包括利益累計額合計	3,287	3,874
新株予約権	2,710	2,710
非支配株主持分	163,105	164,767
純資産合計	5,771,713	5,676,402
負債純資産合計	7,648,691	6,967,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	6,798,652	8,058,062
売上原価	5,211,418	6,474,841
売上総利益	1,587,234	1,583,221
販売費及び一般管理費	1,617,006	1,618,772
営業損失(△)	△29,772	△35,551
営業外収益		
受取利息	1,047	841
受取配当金	1,458	1,222
受取保証料	956	1,067
金利スワップ評価益	333	127
雑収入	9,735	6,536
営業外収益合計	13,531	9,794
営業外費用		
支払利息	605	660
支払保証料	3,600	2,659
為替差損	15	51
持分法による投資損失	94	95
雑損失	6,050	1,281
営業外費用合計	10,366	4,747
経常損失(△)	△26,607	△30,504
特別損失		
違約金損失	1,687	—
特別損失合計	1,687	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△28,294	△30,504
法人税、住民税及び事業税	18,569	20,852
法人税等調整額	△713	3,122
法人税等合計	17,855	23,974
四半期純損失(△)	△46,150	△54,479
非支配株主に帰属する四半期純利益	347	1,662
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,497	△56,141

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△46,150	△54,479
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	459	587
その他の包括利益合計	459	587
四半期包括利益	△45,690	△53,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,037	△55,553
非支配株主に係る四半期包括利益	347	1,662

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△28,294	△30,504
減価償却費	44,043	48,719
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△60	△60
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△3,546
受取利息及び受取配当金	△2,505	△2,063
支払利息	605	660
売上債権の増減額(△は増加)	△58,670	63,468
棚卸資産の増減額(△は増加)	△119,728	△132,199
破産更生債権等の増減額(△は増加)	60	60
未収入金の増減額(△は増加)	14,913	4,951
前渡金の増減額(△は増加)	2,266	3,824
仕入債務の増減額(△は減少)	84,341	△690,524
未払金の増減額(△は減少)	△16,002	△28,836
未払費用の増減額(△は減少)	20,221	△2,160
前受金の増減額(△は減少)	△7,963	△45,383
預り金の増減額(△は減少)	1,999	△3,570
未払消費税等の増減額(△は減少)	△43,967	△854
その他	△12,864	△63,178
小計	△121,605	△881,197
利息及び配当金の受取額	3,023	1,611
利息の支払額	△605	△660
法人税等の還付額	139	—
法人税等の支払額	△59,788	△21,946
営業活動によるキャッシュ・フロー	△178,837	△902,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,410	△148,973
無形固定資産の取得による支出	△3,860	△24,523
敷金及び保証金の差入による支出	△162	△1,621
敷金及び保証金の回収による収入	403	131,553
資産除去債務の履行による支出	—	△6,160
その他の支出	10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,020	△49,725
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	250,000
リース債務の返済による支出	△710	△788
長期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△124	△78
配当金の支払額	△170	△41,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,005	157,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△251,861	△794,125
現金及び現金同等物の期首残高	2,841,292	2,227,632
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,589,431	1,433,506

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、当第2四半期連結累計期間の損益等に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。